

服部撫松 （おのり） 戯作家、小説家、政論家。天保十一年二月十五日陸奥國生れ、明治四十一年八月十五日没（二八四—一九八）。本名誠一、通稱半瀨。別號初鳥、吸霞樓、撫松子、撫松居士、撫松逸史、服子、服撫松、服部誠、梅隣逸史等。父は、木松藩儒服部一。江戸小出湯島聖堂小學ぶ。明治二年藩の儒官と、上京して家塾を開く。七年東京新繁昌記（し）を著して文名を上げた。九年九春社を興し、東京新誌（し）等の諸誌を次々と發刊、一方と憲政進黨系の政論家として活動。二十九年以降宮城で中學校の作文教師。

著譯書「東京新繁昌記」全七冊（初編・明治七年四月、二編・六月、三編・八月、四編・十月、五編・十一月、六編・九年四月奎章閣、後編第一・十四年六月自足軒藏版）、（勸）繡像奇談・第一篇（全）一冊

（纂評、明治十六年十月九春社）、（東）京柳巷新史（一名情之世界）

全二冊（明治十九年五月叢書閣）、アー、ロビダー作（世界）進歩（第）二十世紀

記（内題）第一「二十世紀」譯、明治十九年八月大阪・岡島寶玉堂）、

二十國會未來記（明治十九年十月仙鶴堂）、ロールド、リットン

作・文學（連）理談（上篇）（纂）述、明治二十年二月仙鶴堂、杉本七

百丸他發兌）、（教）育「稚兒櫻」（明治二十年六月河出龜）三郎共刊、成

美堂）、（二十）世紀新亞細亞（一名明治百年記）（明治二十一年四月）千

一（佐）文木（編）判、善哉堂）、（從）清濁演說（明治二十七年十一月）

二十八日小林喜右衛門・（柳）原友吉刊）、（明）治新撰記事論說文範（内題）

「（新）撰記事論說文範」明治二十九年一月二十一日水野書店）、（秋）

聲白露（合）著・研學會編、明治三十一年十一月二十九日研學會「研

學叢書」）、（東）京新繁昌記（大）正十四年十一月二十日聚芳閣「初

治  
期  
山  
說  
隨  
筆  
叢  
書  
「  
等  
。